

# 第3期データヘルス計画の策定について

令和5年度第2回全国健康保険協会沖縄支部健康づくり推進協議会  
(令和6年3月21日)

## データヘルス計画とは・・・

加入者の健康・医療情報を活用し、支部の健康課題を見つけ、解決に向けて効率的に保健事業を実施していくための計画である。

### 【背景・経緯など】

日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）において、すべての保険者がレセプト・健診データの分析に基づくデータヘルス計画を作成することとなり、平成27～29年度の3か年計画として、第1期計画がスタート。

第2期計画は平成30年度～令和5年度までの6か年計画。第1期計画の検証結果を踏まえ、事業の目的や動機をより明確にした取組の実施と、定量的かつアウトカムを重視した目標設定により、PDCAサイクルを一層強化することとされた。

第3期計画は、第2期計画の検証結果を踏まえ、これまでの計画と同様に「特定健診・特定保健指導の推進」「重症化予防の対策」「コロナヘルスの取組」を柱としつつ、「データ分析に基づく地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチ」にも取り組む。

# はじめに・・・第2期データヘルス計画の振り返り

## 1. 第2期データヘルス計画（実施期間…平成30年度から令和5年度までの6年間）

健診の受診率を高め、特定保健指導により生活習慣を改善させることで、加入者のメタボリックシンドローム保有率を減らすことを6年後の中位目標とし、10年以上経過後に虚血性心疾患・脳血管疾患の年齢調整死亡率を改善することを上位目標とした。さらに、事業主などの健康づくり意識の醸成を目指した取組をとおして、健診受診率及び特定保健指導実施率の向上を促進していくこととする。

### 【上位目標】

（10年以上経過後に達する目標）

生活習慣病を減らすことで

- ・虚血性心疾患年齢調整死亡率を男性35.4%を31.0%に、女性は11.5%より改善する
- ・脳血管疾患年齢調整死亡率を男性38.1%を37.0%に、女性は17.5%より改善する

### 【中位目標】

（6年後に達成する目標）

加入者(被保険者・被扶養者)のメタボリックシンドローム保有率（腹囲、血圧、中性脂肪、空腹時血糖）16.0%を14.0%に減らす

### 【下位目標】

### 中位目標達成に向けた令和5年度事業

#### 1. 健診受診率の向上

〈事業内容〉

- ① 生活習慣病予防健診
- ② 健康宣言事業所の生活習慣病予防健診
- ③ 被扶養者の特定健診

#### 2. 特定保健指導実施率向上

〈事業内容〉

- ① 被保険者に対する特定保健指導（委託機関による特定保健指導含む）
- ② 被扶養者に対する特定保健指導

#### 3. 重症化予防事業の充実

〈事業内容〉

- ① 未治療者に対する受診勧奨及び糖尿病性腎症の重症化予防
- ② 糖尿病治療中者に対する生活指導（重症化予防プログラム）

#### 4. コラボヘルスの拡充

〈事業内容〉

- ① 事業主と連携した被扶養者への特定健診受診勧奨
- ② 健康宣言事業所における高血圧未治療者の受療率向上

## 2. 第2期データヘルス計画 ～令和4年度までの状況～

上位目標 ①	実績 (直近の実績)
生活習慣病を減らすことで虚血性心疾患年齢調整死亡率を男性35.4%を31.0%に女性は11.5%より改善する	男性31.6% 女性9.5% (令和3年度) <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">改善</div>

(※出典：沖縄県保健医療部発行（令和5年6月）沖縄県市町村別健康指標)

- 令和3年度の虚血性心疾患死亡率は男性31.6%、女性9.5%と、男女ともに平成27年度のベースラインと比較して2.0pt～3.8pt改善しており、女性の年齢調整死亡率はすでに目標を達成している。（参考資料1ページ）
- 一方で、20歳から64歳までの働き盛り世代の年齢調整死亡率では、男性で平成27年度のベースラインから1.9pt増加しており、女性並みの改善はない状況。（参考資料1ページ）

上位目標 ②	実績 (直近の実績)
生活習慣病を減らすことで脳血管疾患年齢調整死亡率を男性38.1%を37.0%に女性は17.5%より改善する	男性38.3% 女性17.3% (令和3年度) <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">変わらない</div>

(※出典：沖縄県保健医療部発行（令和5年6月）沖縄県市町村別健康指標)

- 令和3年度の脳血管疾患死亡率は男性38.3%、女性17.3%となっており、女性は0.2pt改善しているものの、男性は0.2pt増加している。（参考資料2ページ）
- 20歳から64歳までの働き盛り世代の年齢調整死亡率が男女ともに平成27年度のベースラインから増加している。（参考資料2ページ）

## 2. 第2期データヘルス計画 ～令和4年度までの状況～

中位目標	実績 (直近の実績)
加入者(被保険者・被扶養者)のメタボリックシンドローム保有率(腹囲、血圧、中性脂肪、空腹時血糖) 16.0%(28年度)を14.0%に減らす	18.5% (令和4年度) <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">悪化</div>

- 加入者のメタボリックシンドローム保有率は、中間評価時点で17.5%(令和元年度)、令和4年度18.5%と 年々悪化の傾向にある。(参考資料3ページ)
- 被保険者の年代別のメタボリックシンドローム保有率は、70～74歳が34.8%と最も高く、次いで60代27.5%、50代22.0%となっている。35歳～40代は該当者よりも予備群が多いが、50代以降では該当者数が予備群者数を超える。(参考資料4ページ)
- 被扶養者の年代別のメタボリックシンドローム保有率は、70～74歳23.4%と最も高く、次いで60代17.6%、50代10.2%となっている。50代までは該当者よりも予備群が多いが、60代以降では該当者数が予備群者数を超える。(参考資料4ページ)
- 令和4年度のスコアリングレポート(※)では、腹囲リスク保有率が男性60.0%、女性は22.3%と全国平均より高く(男性は8.8pt、女性は6.2pt高い)、メタボ予備群やメタボリスク保有者へと移行しやすい対象者が多い。(参考資料5ページ)
- 令和4年度のメタボリスク保有者の61.3%が高血圧や糖尿病、脂質異常症の治療中で平成28年度と比較して4.9pt増加している。(参考資料6ページ)

※スコアリングレポート：協会けんぽに加入する中小企業の従業員の健診結果などを支部ごとにまとめたもの

### 3. 第2期データヘルス計画 ～データヘルス会議による主な意見～

---

#### ■ 上位目標について

- 沖縄県全体の統計を指標としており、協会けんぽの事業と繋げて評価することができないためデータヘルス計画の目標としての指標は、協会けんぽ加入者の統計を使用したほうがよい。
- 協会けんぽの保有するデータでは、疾患別の年齢調整死亡率を出すことが困難なため、第3期データヘルス計画では「罹患率」の改善を目指す目標としてはどうか。

#### ■ 中位目標および下位目標について

- メタボ「保有率」には、血圧、代謝、脂質のリスクに服薬中の者もリスクとして含まれているため指標として使用するデータは、メタボ「該当率」のデータを指標としたほうがよい。
- 特定保健指導利用者の約3割が、翌年度の健診で特定保健指導の該当者から外れており、保健指導による改善効果がみられている。
- 特定保健指導利用者の7割が中断することなく生活改善に向けた支援を受けていることから、メタボリスク保有者の増加を抑える一定の効果はあったと考える。
- メタボリスク保有者の6割が高血圧や糖尿病、脂質異常症の治療中で、その割合は年々増加していることから、メタボ改善に向けたポピュレーションアプローチや医療機関（関係機関）との連携強化に関する具体策が十分ではなかったと考えられる。
- メタボリスクの該当項目については、血圧リスク該当者が最も多く、高血圧対策に特化した取り組みとして沖縄県医師会との連携事業「65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト」の実施を進めてきたが、対象事業所の拡大等に課題がある。（参考資料7ページ）

# 第3期データヘルス計画の策定

## 1. 第3期データヘルス計画（実施期間…令和6年度から令和11年度までの6年間）

目標については、令和4年度の評価や第2期の振り返り及びデータ分析の結果による健康課題等の現状を踏まえて設定

### 対策を進めるべき重大な疾患

（10年以上経過後に達するゴール）

- ①虚血性心疾患罹患率を低減する ②脳血管疾患罹患率を低減する

### 6年後に達成する目標

（健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標）

加入者（被保険者・被扶養者）のメタボ該当率を低減する【令和4年度18.9%（34,016人）→現状より減らす】

※メタボリックシンドローム該当率には、服薬者が含まれない。真に数値が高い人だけがカウントされる。（第3期より保有率から該当率へ変更）

※次ページ（P7）で詳細説明

## 健康課題に対する各種取組（事業）

### 1. 健診受診率の向上

〈事業内容〉

- ① 生活習慣病予防健診の実施率拡大に向けた周知広報及び未受診者に対する個別勧奨
- ② 生活習慣病予防健診の利用勧奨及び事業者健診結果データの取得
- ③ 協会主催の集団健診の拡大

### 2. 特定保健指導実施率向上

〈事業内容〉

- ① 特定保健指導初回実施率の向上
- ② 効果的な特定保健指導の実施

### 3. 重症化予防事業の充実

〈事業内容〉

- ① 受診勧奨の早期介入と二次勧奨実施者の拡大
- ② 宣言事業所における未治療者割合の減少

### 4. コラボヘルスの拡充

〈事業内容〉

- ① 事業主と連携した被扶養者の受診勧奨
- ② 事業所で取り組む禁煙サポート事業
- ③ 事業所とコラボした高血圧改善プログラム

## 健康課題

メタボ該当率 18.9%（34,016人） 全国一高い

※R4年度健診受診者リストより

### 1. 肥満（BMI高値）

- ① 肥満（BMI25以上）39.9%・73,233人
- ② 腹囲（男性85cm以上）32.0%・58,648人  
"（女性90cm以上）10.1%・18,443人

### 2. 高血圧

- ① 血圧（140/90mmHg）22.4%・41,138人

### 3. 脂質異常

- ① 中性脂肪（150mg/dl以上）22.3%・40,889人
- ② HDL（40mg/dl未満）5.4%・9,837人
- ③ LDL（180mg/dl以上）4.5%・8,332人

### 4. 血糖高値

- ① 空腹時血糖（126mg/dl以上）6.0%・11,002人

# 健康課題に対する各種取組（事業詳細）

## 1. 健診受診率の向上

①生活習慣病予防健診の実施率拡大に向けた周知広報及び未受診者に対する生活習慣病予防健診個別勧奨

生活習慣病予防健診の広報及び個別勧奨を行い実施率拡大を図る

②生活習慣病予防健診の利用勧奨及び事業者健診結果データの取得

事業者健診結果データ取得等業務を外部委託し、事業者健診結果取得率の向上及び生活習慣病予防健診への切り替えを図る

③協会主催の集団健診の拡大

協会主催の集団健診を拡大し、被扶養者の受診機会を増やすことにより特定健診実施率向上を図る

## 2. 特定保健指導実施率向上

①特定保健指導初回実施率の向上

第4期（R6.4月～）特定保健指導はアウトカム評価（腹囲2cm減・体重2kg減）に焦点が当てられ、さらに腹囲・体重減少に着目した保健指導が進むことからメタボ該当者・予備群の減少に寄与するため、特定保健指導の利用案内を徹底する

②効果的な特定保健指導の実施

アウトカム評価とプロセス評価を意識し、より質の高い保健指導を目指すため、直営の保健指導担当者のスキルアップとともに実施率の7割を占めている外部委託機関との連携を図る

## 3. 重症化予防事業の充実

①受診勧奨の早期介入と二次勧奨実施者の拡大

健診当日の受診勧奨を健診実施機関に委託することにより早期介入を強化し、二次勧奨を専門機関へ外部委託することにより二次勧奨件数の増加と受診率の向上を図る

②健康宣言事業所における未治療者割合の減少

沖縄県医師会との連携事業である「65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト」に基づき、産業医と連携した高血圧重症化予防プログラムを実施し、未治療者を確実に医療に繋げることにより高血圧による重症化予防を図る

## 4. コラボヘルスの拡充

①事業主と連携した被扶養者の受診勧奨【ご家族様にも特定健診プロジェクト】

特定健診受診率の向上を図るため、健康宣言事業所を対象として事業主と連携した受診勧奨を行う

②事業所で取り組む禁煙サポート事業（沖縄県薬剤師会・沖縄県保健医療福祉事業団との連携）

禁煙する意思のある従業員を、事業所・禁煙支援薬局・協会けんぽが支援することで卒煙率の向上を図り、加入者の健康の維持・増進につなげる

③事業所とコラボした高血圧改善プログラム

「65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト」に基づき、高血圧予防や重症化予防をテーマとする健康講話や保健指導を実施することにより、高血圧関連疾患による重症化予防を図る



### 『6年後に中位目標「加入者のメタボ該当率を低減する」を達成するための施策について』

- メタボ対策で、各機関・事業所で取り組んでいることや、取り組みを進める中での課題及び課題への対策等がありましたら教えてください。
- 中位目標達成に向け、特定保健指導を受け入れる環境づくりについて、有効な対策等（事業所・個人）はありますか。